

知事記者会見（平成22年2月8日）

●知事発表

なし

●幹事社質問

（1）平成22年度当初予算案の概要について

●その他の質問

（1）県立美術館について

（2）少子化対策について

（3）高速道路の無料化について

（4）国直轄事業の民主党からの情報提供について

（5）東京都との教員採用試験の協定締結について

（6）バンクーバーオリンピックについて

（7）参議院選挙の候補者選考について

時間：12：59～13：36

場所：プレゼンテーションルーム

（幹事社）

今日は知事からの発表事項はないということで、幹事社質問をさせていただくんですが、予算について、規模や目玉となる事業編成について、お答えできる範囲で構いませんので、お願いできたらと思います。

（知事）

明日、（予算案を）県政協議会で内示する予定で、今、資料作り等を行っています。

今回の予算は、これまでの県の財政状況や政権交代による国の財源等の変化、あるいは県内の大きな課題等の状況を踏まえて当初予算を組みました。

当初予算を組むに当たりまして、臨時議会の開催で公共事業等を前倒した事業もあって、大変輻輳していましたけれども、最終的な当初予算の一般会計全体の規模としては、前年度を幾分上回る形になるのではないかと思います。事業の見直しや行政改革、あるいは国からの交付税の見込み等を見通して大きな無理をせずに何とか組めたのかなと思います。当然、各種基金は取り崩さざるを得ませんでした。昨年の当初予算ほどの財源不足とはならない状態で組めました。

そういう中で、「元気創造プラン」の幾つかのジャンルに特化するという県政の大きな

流れができていますので、予算もこれらにかなり重点的な配分を行いました。ただ、これまで制度として続けてきたものもありますので、極端にまっさらという訳にはいかないですけれども、しかし、既存の事業予算の範疇であっても、新しい考えを入れて、新規と拡充を合わせたものとか、部局を越えた横断的な予算を一つの項目として、その中でパーツを変えたり、新しいパーツを入れたりという形で見直しています。明日、県政協議会にお出しする資料なども、これまでの単なる事業毎の羅列ではなく、横断的なものは一つにまとめて、課題への対応、事業の目的、期待される成果などをできるだけわかりやすい形にしています。

特に今回、私の県政の推進方針、マニフェスト等の実行を含めまして重点化したところが幾つかあります。一つは産業経済対策と雇用の問題、これは、目下の緊急経済雇用対策と分けて考えています。国の雇用関係の基金を使うなどして緊急的に行うものは経済雇用対策ということで別枠で取っていますが、中長期的な秋田の経済成長戦略というものを大きなくくりとして組んでいます。将来の発展につながる産業の育成ということで、これまでの輸送機関連、電子工業関連に加えて、総合産業となる可能性がある新エネルギー関連については、産業経済労働部、生活環境文化部、あるいは農林水産部まで含め、それぞれのジャンル毎に、それぞれの進歩の段階毎に秋田県として手がける事業というものを網羅して新エネルギー関連産業を創出していくというものです。ただ、初年度ですので、23年度以降、具体的に進むものもありますし、22年度で事業化するものもあります。新エネルギー産業というのは総合産業ということで、社会システムとの関係、公共事業との関係など全部網羅されますので、我々も相当熱を入れて、しかもできるだけ、絵に描いた餅にならないように、県内外の関連企業を当たりながら、予算のフレームを作っています。

もう一つは農業を中心とした観光、あるいは商工業、いわゆる食品加工ですね。観光を含めた農商工連携。秋田の農林水産資源、自然資源、地域の特性を組み合わせ一つの戦略として、農林水産業を中心とした食品産業の振興という形で予算を組んでいます。

また、新エネルギー、電子・電気、農林水産業それぞれのジャンル毎のそれぞれの部門の県内産業に底辺拡大の施策を組むのと同時に、企業振興という面から、積極的に技術開発、商品開発、販売戦略を進めようとする企業を地域の中核企業へ育てようということで、これは誘致企業、地場企業だろうが構いませんので、新しい事業やこれまでの制度も含めて優先使用権を与えて、徹底してその企業を分野毎、地域毎に育てようというものです。ここが今までとは違って、ある意味では伸びるところはありったけバックアップするという、業種毎の振興策のほかに企業をとらえた振興策も今回組み合わせています。

もう一つは、少子化対策ということで、100分の100の市町村への交付金、あるいは少子化ファンド、これは、今後、民間のご協力を得ながらファンドを作るといことです。こういうことについても特化した予算措置をしています。

最後に、地域医療の確保について、医師の養成を含めて、県内の医師確保対策に更に重点的に取り組むとともに、地域医療の再生ということで、国の認定を受けた仙北、北秋田地域について、具体的な事業を進めていくこととなります。

また、厚生連との関係ですけれども、厚生連のみならず、救急医療等について、支援対象を厚生連病院以外、必要などころについて拡充をするという方向で予算を組んだところ です。

特に産業関係については、予算の組み直し、あるいは拡充によって、新エネルギーに特化したという形と、先程の中核企業のようなものは100パーセント今までとは違った思想です。

私から、今のところ以上でございます。

(幹事社)

関連質問のある社があればお願いします。なければそれ以外の質問でもいいのでお願いします。

(記者)

県立美術館に関して2点ほどお伺いします。日赤跡地の再開発で県立美術館が一つの核になると思うんですが、藤田の作品、あるいは新しい美術館の建物で人を呼び込めるとされる根拠として知事がお考えの部分を改めてということと、もう一つ、周囲の施設ですとか新しい美術館での企画展などそういったソフトの部分での構想を現段階で、もしあるとすればお伺いできればと思います。

(知事)

今回の予算には秋田市、そして準備組合、あるいはまちづくり会社、そして商工会議所等、県との基本合意に基づきまして事業を推進するという意思が確認できていますので、当初予算に必要な予算を盛り込むということです。もう一つは、いろいろな議論があるのは確かです。これはあって当たり前です。(県立美術館や作品だけで)人を呼び込める学問的な(論理的)根拠というのはなかなかないです。むしろそれよりも、(県立美術館にある)貴重な美術資源をどう活用して、秋田の美術的な水準をアップさせるのか、まちづくり、あるいは教育に生かしていくのかという視点が必要ではないかと思います。

あそこには(=県立美術館)藤田嗣治画伯の作品のほかに、ヨーロッパなどの有名な画家の作品がかなりの数、眠っています。点数はそちらの方が多いかもかもしれません。世界の巨匠といわれている画家の作品が相当数あります。ほとんどの方が知らないんですけれども、そういうものを表に出して、平野政吉氏のこれまでの素晴らしい功績と、地方にはなかなかない素晴らしい美術作品を、県民あるいは広く全国に情報発信するというのが、県立美術館をめぐる私の基点です。

美術館というのは、そこにある作品をどう美術品として扱って、それをどのようにして世の為、人の為にするのかということが基本です。美術館はそれを入れる器です。例えば藤田嗣治の絵をメインに、藤田嗣治がモンパルナスで暮らした時の世界の巨匠との交流、横のつながりのコレクションを展示するということも考えられます。また、モンパルナスで暮らした時に日本から渡仏した日本人、あるいは日本以外の作家・文人といえますかそういう方々との交流等、そのことはほとんど世に出ていません。ですから、こういうものを世に出すことによって、東北に特色ある美術の核が作られるのではないのかと思います。そして、千秋美術館、県立近代美術館等とのネットワークの中で、さらに秋田蘭画もあります。秋田県全体の美術をどう表現して秋田の発信性を高めるのかということが大切な訳です。設計の安藤忠雄氏はフランスの建築の勲章をもらっていたり、ヨーロッパの美術館

関係を多く手がけていますので、そういうことも上手く活用しながら、単に美術品を飾って、お金を払って観に来る人たちだけを対象とするのではなく、秋田の文化性を高めるところに主眼を置くべきだと思っています。この点について教育庁の担当課に秋田市等と十分連携をとりながらやるようにという指示をしています。

(記者)

すいません、もう1点お願いします。文化性を高めることが主眼ということですが、そうすると例えばにぎわい交流館ですとかそういった施設との連携ということと、あと12月議会で出た限りでは年間の事業費は管理運営費の7,000万円のうち500万円と、そういうことでは企画展ですとかそういったものを積極的にやっていくには少し費用が足りないのではという声もありますが、その点いかがでしょうか。

(知事)

まだ(美術館の計画も)完全にできておりません。また、美術館の問題では、秋田市のにぎわい交流館との関連もあります。ほかの美術館も観ていますけれども、ソフト面での取り組みを充実させていくということになると思います。基本は、単に再開発の時にたまたま県の土地があつて、(建物を)作って、それで終わりではなく、いかに活用していくかというソフト面に、県も市と一緒に深く関わって、より充実したものにするように、平野財団も含めた財政的なバックアップもしていくべきだと思っています。

(記者)

これに関連しまして、確認ですけれども、安藤忠雄さんが県立美術館を設計されるということで、それ以外の建物には安藤さんの考えは及ばないというのが知事が秋田市長でいらっしゃった時の秋田市の見解だったと思いますけど、これ今、現時点でも変わらないのかどうか。

(知事)

これは、建築的にバランスというものがある訳ですので、それ(=美術館)以外の部分を設計する方と、安藤忠雄さんと情報交換しながら統一感をとるということです。ですから全体として、一体的に統一感がとれたものになると。むしろそうすべきですので、そこは総括する設計会社がやっています。

(記者)

3点お伺いします。予算の関連で、先程、少子化対策についてちょっとお話ありました。今日は少子化政策本部があつて「少子化対策2010」が出ましたけれども、改めて少子化対策への意気込みというのを伺えればと思います。

(知事)

まずは市町村に対して、できるだけ使い道が自由で、しかも市町村の負担がない形の交付金を設けたということです。これはお金で解決するものではないんですけれども、やは

り市町村の取り組みを県と一体的に取り組んでいただくために設けたものです。

もう一つは、子供を産んだ後に復職する場合に、復職しやすいように、直接、企業に対して支援措置するということまで踏み込んでいます。結婚支援センター等のソフト面での対応のものもありますが、この少子化対策については、試行錯誤のところがありますので、22年度予算で終わりではなくて、試行錯誤しながら、より良いものについては23年以降より強化していくということで臨んでいます。

(記者)

ありがとうございます。

2点目なんですけれども、先週、国交省の方から高速道路の無料化の社会実験について発表がありました。県内では3区間が無料化の対象ということになっていますけれども、今回の決定について知事はどのようにとらえていらっしゃるか。

(知事)

高速道路の無料化については、2つの側面があると思います。秋田県知事としてほかの県で無料化があつて秋田が同じような条件で無料化がされないということは、困る訳です。全国的にはほぼ同じような基準で無料化のところが決まりましたので、これはその負担は軽くなりますので、私としては歓迎の意はあります。

ただ、このような無料化という中で、今回は1,000億円程度でしたけれども、これがずっと広がっていくとすれば、無料化はいいけれども、いわゆる(高速道路が)つながっていない部分、県北部、日本海沿岸、東北中央道とこれらについての財源とどういう関わりを持つのかなど。無料化はいいけれども、(高速道路の建設が)遅れるとなると、果たしてどちらがいいのかということになると(とらえ方が)違ってきます。

さらにもう一つは、この(無料)区間というのが今後どのぐらい増えるのかわかりませんが、あくまでも社会実験ですので、やってみないとわかならいところがあります。これの(高速道路が)つながっていないことには遠距離は走らない訳ですから、そういうところで無料化にしても通行量がそう増えないのではないのかということも考えられます。それで、秋田に高速道路はいらぬのではないかと取られても困る訳ですので、全国的な均一の無料化について、同じ条件で決まったものについてだけでいえば歓迎すべきことなんですけれども、これがその後どうなるのかと、ここが見えないので、もろ手を挙げて無料化に賛成ということにはいかないというのが現実です。

(記者)

最後3点目です。これも先週なんですけれども、今、国会でもちょっと話題になっています。民主党が都道府県連に公共事業予算の箇所付けの通知をしたということで、今回もめていますけれども、県の方にも民主党県連からこういった連絡があつたかどうかということ。また、知事はこういった民主党の手法についてどのように思われているかということをお聞かせください。

(知事)

事実を確認をいたしました。1月29日に民主党県連から平成22年度の直轄事業関係についてのおおよその今の状況、内容を口頭で教えられたということで、ペーパーとしてはいただいているということ。大きくりな箇所毎のものが口頭で一定の（金額の）幅の中で、何十億円から何十億円という形で1月29日に伝えられたということがあったことは事実です。

ただ、我々として、内示なのか、箇所付けなのか、まだ予算が可決してませんので、箇所付けというのは予算が可決してからになりますので、予算の積算根拠なのかと思えますが、よくわかりません。しかも、国交省だけで、ほかのものについてはきていません。例年だと国の予算が成立した時点で、非常に小さいものや補助事業などは、大体5月頃に箇所付けになってから（県に）来るんですけれども、直轄関係は、国の予算が成立した時点で積算資料がオープンになりますので、各省庁のペーパーのコピーが国会議員を通じて自治体にもたらされるということは、これまでもありました。今までの国会議員を通じて出たペーパーは、実際の予算の資料のコピーでしたが、今回はそうではないので、そこら辺については、我々はどういう対応をとったらいいか、どこの段階のものなのかはわかりません。ほかの省庁のは何もない訳ですから、どういう取り扱いなのか私もよくわかりません。

(記者)

ちょっと確認になるんですが、口頭で伝えられたというのは、国会議員の方からのことになる訳ですか。

(知事)

はい。民主党県連の秋田県の選出の国会議員の方から、（県の）東京事務所に対して伝えられたということです。

(記者)

あの2点お伺いしたいんですけど、まず1点なんですが、確か明後日だったかと思うんですけれども、教員採用の試験で、東京都と秋田県が連携して採用試験を行うということで、調印をするかと思うんですけれども、東京都とその協定を結ぶということに関して、知事はどんなお気持ちでしょうか。

(知事)

教員採用の現場について、詳しい訳ではありませんけれども、東京都が優秀な教員を確保したいということ。秋田も優秀な教員を確保したい訳ですけれども、なかなか採用枠が少ない。そういう中で、両方の目的が一致して、秋田以外の幾つかの県が入るようすけれども、最初の試みということです。私はこういう手法も今の時代、秋田だけでとどめておくというのではなく一つの方法かなと思います。ただ、これはやってみないとわからない点もありますので、教育庁の方でもこの後のフォローをきちっとやっていかなければならないと思っています。

(記者)

2つ目なんですけれども、今週末というか13日、日本時間の13日からバンクーバーオリンピックが始まりますが、秋田県選手だとノルディックの複合の3人と、バイアスロンの鈴木選手と合わせて4人出るかと思うんですけれども、知事として期待することとか、応援したいことを是非教えていただければと思います。

(知事)

久々に秋田県関係者が4人おりまして、秋田は雪国ですので、子供たちも何らかの形でスキーとかスケートをやっています、私も昔スキーをやったものですから冬季のオリンピックというのは非常に興味があります。何とかいい成績を収めてほしいなと思います。

テレビを見ましたら、(元五輪選手の)荻原さんがノルディック複合は上位入賞の可能性が極めて高いと、力があるんだというお話をしていました。また、小林選手がインタビューに答えていましたけれども、今の若い選手っていうのは、私と違って秋田弁ではなく標準語で話していて、都会的で秋田の選手たちもかっこいいなと思っていました。何とか、表彰台の上で、スキーを掲げてもらいたいなと思います。

来週の一般質問の頃と重なるようなんですけれども、テレビもできるだけ見たいと思っています。是非いい成績で秋田に凱旋してもらいたいと。秋田県の選手、関係者、そして日本選手全部に頑張ってもらって、日本全体が何となく沈滞ムードですので、オリンピックで少し勢いをつけてもらえればなと思っています。

(記者)

シーアンドレール構想の実証実験が今日からまた再開、始まりましたけれども、それについて感想をお聞かせください。

(知事)

今回は長期の実験で、かなりの額にもなります。これで大体、国交省の方の技術的な課題の総括が終わるのではないかと思います。来年度の(県の)予算にも大分盛り込んでいきますけれども、関連の貿易流通の面をしっかりとやっていかなければならないことですので、港の整備とソフトの問題を並行しながら、秋田港から荷物の出入りを少しでも早くということ而努力していかなければならないと思います。

(幹事社)

ほかに質問ありますか。

(記者)

ちょっと別な話なんですけれども、参議院選挙に関しまして、先週、民主党県連の方でも候補者を大体決めました。国政を見れば民主党に対する小沢さんなり鳩山さんなりへの風当たりというのもございますけれども、その影響がどのようになってくるのか、今のところでお考えがあればお伺いしたいということと、今回の民主党県連の候補者選考にかかる過程について、もしご感想があればお伺いしたいと思います。

(知 事)

この（参議員の）選挙というのはまだ先の話です。選挙中の動向でガラッと変わる状況がありますので、今から見通すのはなかなか難しいのかなと思います。

ただ個人的には、鈴木議員とは昔からお付き合いもありまして、頑張っていたきたいなど、これは個人的な話です。それぞれ立候補する方には、頑張っていたきたい。それを選択するのは県民の皆様でありますので。

今回の県連の選び方、これについても私が口を入れる立場ではない訳ですが、公募ということであったんでしょうけれども、県連と中央の党本部との考え方が若干違っていたということも事実でして、私の知事選挙と同じパターンがあったのかなと思っています。

(幹事社)

じゃあほかはないようでしたらこれで終わります。ありがとうございました。